

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム (中野島)	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
テングチョウ	タテハチョウ科	「天狗」のハナ	x	x	○	全国



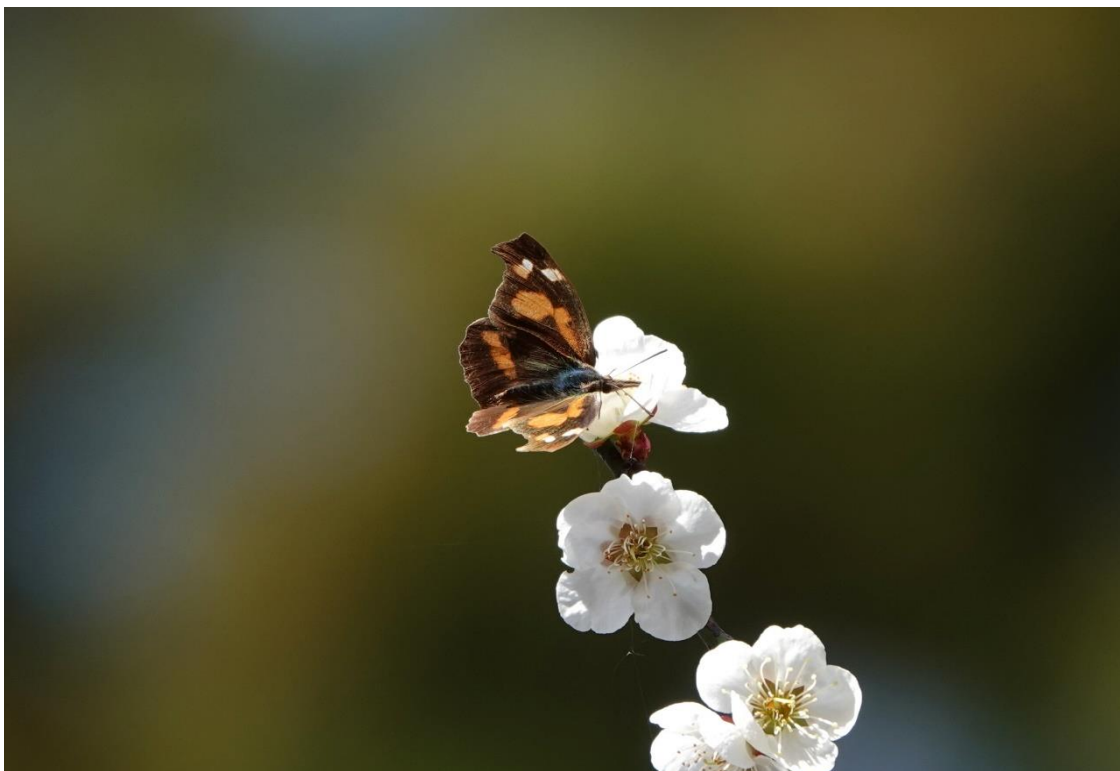
川崎市 5月24日 (2022年) マテバシイで吸蜜



川崎市 6月4日 (2019年) 名前の由来のハナが目立つ (ウツギ)

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹							発生回数/年		越冬形態		
エノキ類							1		成虫		

生田緑地では初夏と秋に見る機会が多い蝶です。成虫で越冬し初夏でも羽がボロボロになり、越冬したとおぼしき個体を見かけます。かつては「テングチョウ科」として独立していたくらいで他のタテハチョウとは少し雰囲気は違いますが、飛ぶのが速いのでとまってからでないと確認不可能。頭部のハナのような部分が突き出てまさに「天狗の鼻」で簡単に見分けられます。名前のつけ方として、「サカハチチョウ」、「エルタテハ」、「シータテハ」など極めていい加減な例が少なくありませんが、この「テングチョウ」はかなり優れたものだ!・・・と思いませんか?



相模原市
3月28日
(2019年)

ウメで吸蜜